

青少年教育指導者等の養成・研修事業

「自然体験活動指導者（NEALリーダー）養成事業」

1. 趣旨

ボランティア養成セミナー受講者向けのスキルアップ講習として、楽しく安全に活動を指導するための自然体験活動指導者（NEALリーダー）を養成する。

2. 事業の概要

(1) 期日

令和元年6月29日（土）～6月30日（日）【1泊2日】

(2) 参加者

- ①参加対象 高校生以上
- ②参加人数 19名（応募21名 キャンセル2名）
- ③参加者の内訳 大東文化大学大学院1名、上越教育大学大学院1名、群馬大7名、
亜細亜大4名、高崎健康福祉大2名、高崎経済大学1名、
青少年教育施設職員3名
- ④修了者数 19名全員
- ⑤資格取得者数 19名全員（予定）

3. 企画運営のポイント

- ・ボランティア養成セミナー直後で、ボランティア活動や自然体験活動への活動意欲に溢れている時期に開催することで、参加者の確保を図った。
- ・ボランティア養成セミナーからのスキルアップという位置づけで、指導者として必要な知識や技能を座学だけではなく、実践を通して学べるようにする。
- ・実習や実技において、参加者同士で話し合ったり、関わったりし、交流を深め、相互学習する時間を意図的に設けた。

4. 日程

	午 前	午 後
6月29日 (土)	●開会行事 ●「対象者理解」 講師：国立赤城青少年交流の家 所長 松村 純子	●「自然体験活動の指導」 講師：大東文化大学教授 中村 正雄 ●「自然体験活動の技術」 講師：国立赤城青少年交流の家 福岡 公平
6月30日 (日)	●「自然体験活動の特質」 講師：公益財団法人キープ協会 事業部長 鳥屋尾 健	●認定試験 ●閉会行事

5. 主な活動内容



「対象者理解」



「自然体験活動の指導」



「自然体験活動の技術」



「自然体験活動の特質」



6. 成果と課題

(1) 参加者アンケート結果

満足14名(88%)、やや満足2名(12%)

(2) 参加者の声

- ・「対象者理解」の講義で、事前の情報も大切だが、その情報だけにとらわれず、自分の目を通して見たこと、感じたことを実践していきたいと思った。
- ・「自然体験活動の指導」の講義で、参加者一人ひとりを受け止め、こうすべきだと決めつけないことの大切さを学んだ。
- ・「自然体験活動の技術」の講義で、事細かく、安全性について注意することの重要性を強く感じた。また、初めて鉋を使った。危ない物という認識があったが、安全な扱い方を知ることができ、実際に体験できてよかった。
- ・「自然体験活動の特質」の講義で、傘アートや料理づくりのアクティビティーは、今後、是非、自分の活動でも取り入れてみたいと思った。
- ・NEALの研修ではボランティアセミナーと違って、より詳しく自然体験活動の指導者のあり方について学ぶことができた。また、様々な年齢の方と交流し、新たな考え方に触れることができたので、良い刺激となった。また、赤城に来ます！！

(3) 成果

- ①6大学16名の学生が参加し、昨年度と比べると、多様な所属からなる参加者が集まった。ボランティア養成セミナー実施後に、そのスキルアップ講習としての位置づけで実施することの成果が得られた。
- ②NEAL演習Ⅱの受講生がスタッフとして携わった。運営スタッフとしての役割だけに留まらず、NEAL有資格者の先輩として、参加者と積極的にコミュニケーションをとっていただいた。このことで、参加者たちが、具体的に指導者像を描くことができたようだ。

(4) 課題

- ①昨年度に比べて、参加大学数が多いとはいえ、定員割れとなった。事業そのものの魅力を高め、NEAL資格の魅力を発信し、幅広く参加者を募る方法を検討する必要がある。
- ②NEAL事業については、専門性の高い講師陣を迎える必要があることから、今年度の講師に囚われることなく、講師候補者のリストアップを行い、質の高い事業実施に努める。

担当：福岡 公平